

昭和40年産米生産費

(昭和40年産米生産費調査結果)

農林省茨城統計調査事務所

1 生産費

水 稲

水稲の県販売農家の平均生産費は、10アール当り、2万8,064円で前年にくらべて6.7%高(150キログラム当りでは9,699円で前年にくらべて9.5%高)となった。

10アール当り収量は434キログラムで、気象災害(生育初期の低温等)により前年にくらべて3.5%減収となっている。

陸 稲

陸稲の10アール当り生産費は、1万7,836円で前年にくらべて10.6%高(150キログラム当りでは、1万638円で前年より6.6%高)となった。

10アール当り収量は、251キログラムでごくわずかな増収となっている。

2 水稲費目的別内訳

前年とくらべ目立つのはつぎのとおりである。

生産費の6割をしめる労働費は、労賃の上昇により7.6%、農具費は5.5%とそれぞれ増加した。その反面畜力

費は動力農機具の普及(耕耘機14.9%、乾燥機39.7%、揚水機20.1%増加)により大巾に減少した。

10アール当り投下労働時間は、1,427時間で65時間減少した。これらは、一般的に天候にめぐまれ諸作業に収期獲)が順調に行われたことと動力使用時間が減少した(5.7%)うち耕耘作業の0.8時間の増加によるものである。

3 収益性

水 稲

10アール当り粗収入は、米価の上昇により4万7,102円にくらべ3,836円(5.0%)の増加となった。したがって1日当りの家族労働報酬は、2,208円となり前年、1,808円より208円の増加となっている。

陸 稲

10アール当り粗収入は、2万7,938円で前年の2万5,102円にくらべ3,836円(15.9%)の増加となった。1日当りの家族労働報酬は、1,784円で前年の1,440円より344円の増加をしめし水稲の208円を上回った。

昭和40年産米生産費調査結果

費 目	水		稲		陸		稲	
	10アール当り	前年比	150kg当り	10アール当り費目割合	10アール当り	前年比	150kg当り	10アール当り費目割合
	円	%	円	%	円	%	円	%
種肥	320	120.3	111	1.2	234	76.5	140	
畜料	3,386	99.1	1,171	12.3	2,959	121.0	1,765	
諸材料	1,480	104.6	512	5.4	743	84.0	443	
水利除	812	126.9	281	2.9	—	—	—	
水防除	238	109.2	82	0.9	224	221.8	133	
建	408	99.5	141	1.5	346	74.7	206	
農具	3,293	105.5	1,137	12.0	2,428	99.3	1,448	
畜力	175	56.6	60	0.6	—	—	—	
労働賃	16,534	107.6	5,714	60.1	10,627	118.5	6,339	
燃料	842	97.6	291	3.1	277	114.5	165	
費用合計 A	27,488	105.6	9,500	100.0	17,838	112.4	10,639	
副産物価額 B	1,738	85.4	601	—	1,182	114.1	705	
第一次生産費 C = A - B	25,750	107.3	8,899	—	16,656	112.3	9,934	
本利子 D	1,063	100.6	368	—	693	82.3	414	
地代 E	1,251	100.0	432	—	487	110.2	290	
第二次生産費 F = C + D + E	28,064	106.7	9,699	—	17,836	110.6	10,638	
参	労働時間	142.7時間	95.8	49.3時間	—	88.8時間	98.1	52.9時間
	役畜使用時間	0.7	41.2	0.3	—	—	—	—
	動力	18.6	105.7	6.4	—	10.8	72.0	10.0
	収量	434キロ	97.5	—	—	25.1キロ	103.7	—
考	同上価額	46,157円	106.1	15,952円	—	26,756円	116.0	15,959円
	1日当り家族労働報酬	2,016	111.5	—	—	1,784	123.9	—
	純収	18,93	105.1	—	—	8,920	128.5	—
	1戸当り平均作付面積	アール	102.3	—	—	71.8アール	97.6	—
		81.8		—	—			—